

町並み月報

■平成21年7月24日（第60号）

■発行責任者 澤口輝禪

重伝建保存地区の 修理事業が始まりました



小浜飛鳥区で伝建事業の補助金を活用した家屋の修理工事が行われています。工事の施主様である尾上様ご夫妻に修理をしようと思われた動機等をおききました。

現在は大阪にお住まいですが、飛鳥区の修理家屋は奥様の実家です。

ご主人が初めて小浜に来られた時、「この周辺は田舎なんだけど家並みもそろっているし、静かで、時間もゆったりしていて、とても良い所だ」と思われたそうです。しかし「小浜へ訪れるたびに空き家が増えて、空地も目立って、家並みが損なわれてきていると感じ、これではいけないと思うようになりました。子供達も小浜が大好きなので、おばあちゃんの家を修理して定年後はここに住もうと決めました。家屋の完成後は早目に引っ越しをして、他の所で住んでいる子供たちと何か事あるごとに交えて、記念館的な活用をしようと思っています。様子をみながら小浜西組の町づくりにも協力していきたいし、何か要請があれば努力もさせていただきます。」とご主人は話してくださいました。また「将来の希望は電線の地下埋設、アスファルトの道路をなんとかしていただけると嬉しいですね。」と話しておられました。



改修工事の様子

小浜西組町並み協議会 21年度 第2回役員会報告

日 時：平成21年7月1日（水）午後7時30分～9時30分

場 所：鹿島 町並み保存資料館

出席者：役員21名のうち、出席15名 委任状3名により、会が成立

- 1、開会の辞 会長挨拶の後、議長に梅田理事が就き、議事進行
- 2、市からの報告（省略）

3、議 題

(1) 一門一灯運動の件 佐野庶務（活性化部会会長）から提案

別紙「事業計画案」の方針で準備を進めている。「げんでんふれあい財団」と市の補助金が出ることになったので、明かり一個5,000円と見積もって、120個製作し、今回は主に丹後街道沿いの家々に置きたい。

役員からの意見として、「各家に無料で置かせてもらうべき」「イベントにあわせて、置かせてもらい、イベント終了後はひきあげてはどうか」などの意見が出された。

結論として、事業案は了承し、無料にするか、恒常的に置くことにするかなどの細部は今後、活性化部会で検討することにした。

(2) 通り名称看板設置の件 佐野庶務から説明

「丹後街道」など、通りの名称を石板に刻んで、道路に埋めて掲示する方法を考えていたが、市に相談したところ、許可できないとのことだった。どのような方法にするか、現在模索中である。また、県の文化財活用の補助金の申請をしたが、「採択の可能性が低い」とのことであった。

(3) 町並み協賛基金設置の件 会長から提案

基金の設置については、すでに総会で承認されている。については名称を、「小浜西組町づくり協賛基金」としたい。通常の会計とは別にして、預金口座も作りたい。広く一般の方からの協賛金をいただく窓口とする。基金の活用の仕方などについては、いずれ、規約を作りたい。

以上の会長提案を承認

(4) 二方向避難口ほか各区防災マップの作成について 会長から提案

自主防災の観点から、各区の理事さんに、拡大マップに各区の二方向避難の可能な家、不可能な家を重点的に調べて、図式化してもらいたい旨、提案。

役員より、「二方向避難については、すでに昨年、調べて、市に報告してある。さらに調べる必要があるか」「個人のプライバシーにかかわってくるのではないか」などの意見が出された。

議長の裁定で、「とりあえず、各区ごとの拡大マップを各区理事に配って、防災マップを作成するか否かは、理事の判断に任せよう」ということで了承。

(5) 飛鳥区、新美氏宅の件 野村事務局長から報告

6月29日に新美氏と覚書を交わした。今後、新美氏所有の土地、建物については協議会が管理、使用することになった。建物が荒れているので、最小限の整備をして、活用方法について考えたい。

(6) 街路整備事業要望案作成委員会立ち上げの件 会長提案

これまでの議論を踏まえて、作成委員は、各区理事、会長、副会長、事務局長としたい。今年度中に要望書をまとめて、市に要望したい。

役員から「伸びゆく西部をつくる会の方にも委員に入ってもらったほうが良い」との意見が出された。それも考慮に入れて、作成委員会を立ち上げることを了承。

(7) その他

- ①「祝 重伝建地区選定」ののぼり旗撤去の件 野村事務局長から提案
重伝建地区選定を記念して、昨年秋に西組地区に建てたのぼり旗が破損したりして見苦しい状態になったものもある。また、重伝建地区に選定されて1年以上経つので、撤去してはどうかとの意見が出され、承認した。
- ②広報担当石野副会長から、「市外在住で月報を送っている方から、『送料などにお使いください』との事で、現金1万円をいただいた。雑収入として会計に入りたい」との提案があり、承認した。
- ③野村事務局長から、「現状変更の許可について、協議会にも相談がほしい。」との提案があり、今後、協議会に相談をかけることになった。

4、閉会の辞 野村事務局長

平成21年度町並み協議会予算（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

収 入

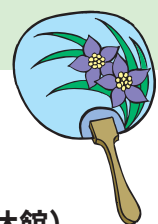
項 目	金 額 (円)	備 考
繰越金	90,829	
市より補助	180,000	
資料館受託料	360,000	
協力金	30,000	マップ売上げ
合 計	660,829	

支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
資料館運営費	360,000	管理人手当、電話回線他
会合運営費（お茶代など）	20,400	総会@120×50=6,000 役員会@120×20×6=14,400 ×10×5=6,000
月報発行費	28,000	市外郵送料3ヶ月ごと 4,500円×4回その他
環境整備費	25,000	案内板などの修理など
視察研修費	85,000	先進的重伝建地区の視察バス代（西組住民対象）
一門一灯設置費	70,000	各家に行灯（あんどん）を取り付ける
通り名称看板設置費	60,000	通りの角に案内看板を設置
ホームページ作成費	10,000	西組紹介のページ作成、維持
予備費	2,429	
合 計	660,829	

町並み保存資料館 企画運営部からのお知らせ

只今当館では「うちわと扇子展」を開催しています。館内も夏用に涼しく様変わりしております。お気軽に資料館へお越し下さい。



***うちわと扇子展 7/8（水）～8/20（木）（火曜日休館）**

常高寺の花菖蒲園にて

梅雨の晴れ間を見て、常高寺の菖蒲園へ行き、やすらぎのひとつときを得ることが出来ました。昔から、「いずれ菖蒲か杜若」など、美しい女の人を見たとき、思わず脳裏をかすめる言葉ですが、真っ直ぐに立った茎の上に、色もそれぞれにさほど華美でなく、慎ましやかな中にもきりりとした気品のある菖蒲の花に、折からの雨露にしっかりと濡れて、いっそうの奥ゆかしい中になまめかしさを添えて、幽玄の空間へと誘われたのでした。



用意されていた長いすに腰掛けて眺めておられますと、花の中に心が吸い込まれて、幼い頃の想いがよみがえってきたのです。

常高寺本堂が焼失したのは、大正末期ではなかったでしょうか。それ以前より私の父は、常高寺住職さんと親しくしていたのですが、その住職さんも去り、無住となったお寺も父には思い出が多かったのでしょうか、私が物心つく頃にはよく私の手を引いて石段をのぼりながら、住職さんとの事などを話し聞かせてくれたものでした。

しかしその頃のお寺は本堂は焼けてなく、草原となり、庫裏も書院も荒れ放題、幼い眼には異様に淋しく物悲しいものでした。その上、昭和40年頃だったでしょうか、山門も半焼して哀れな姿となってしまったのでした。

それから幾十年経ったことでしょうか、今の住職が入られて次々と再建、復興され、今日の立派な寺院としての姿が、よみがえったのです。

「再建には、地元の方々の大きなご支援と激励をいただきました。そのご恩を少しでも返さなければと思います」と語る住職さん。奥様共々丹精をこめられたお庭をながめつつ、幼い頃の思い出や、五十数年前に去った父の笑顔がうかんできて、しばし、時間を忘れて、やすらぎのときを過ごすことができたのでした。(西組一住民より)

小浜西組の町づくりのための支援金を勧募しております

振込み先

(郵便局から振り込む場合) ゆうちょ銀行 記号13350 番号11453261
口座名 小浜西組町並み協議会町づくり基金
(オバマニシグミマチナミキョウギカイマチヅクリキキン)

(他の金融機関から振り込む場合) ゆうちょ銀行 支店名 三三八
普通預金 口座番号1145326
口座名 小浜西組町並み協議会町づくり基金
(オバマニシグミマチナミキョウギカイマチヅクリキキン)

住所 〒917-0067 福井県小浜市小浜鹿島40 電話0770-53-3443

なお、直接、役員へお届けくださっても結構です。

小浜西組町並み協議会

連絡先：浅間1 (澤口 輝禅) Tel53-2327